

志賀原子力発電所 1 号機排気筒モニタ B 系の故障について

本日（12日）、北陸電力㈱から、志賀原子力発電所 1 号機の排気筒モニタにおいて、A系・B系の 2 系統（安全確保のため、同一機器を二重に設置している）の内、B系に異常があったことについて、報告があった。

排気筒モニタは、発電所からの排気中の放射能の有無を確認しているものであり、いくつかある監視装置の内の最終のものである。

指示の異常は、昨日（11日）午前 5 時頃に運転員が発見したものであり、昨日午後 5 時 30 分には予備品と交換し、復旧している。

復旧中の時間帯は、A系で監視が継続されており、他の監視機器でも放射能放出がなかったことが確認されている。

本報告は、「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」により連絡があったもの。

連絡区分は、当該装置の故障が軽微なものではあるものの、主要な機器等に該当するものとして、連絡区分Ⅱ（発生日が休日であった場合は、翌営業日に連絡）で連絡があった。

本件については、既に故障が復旧していること、単純な機器の故障であることから、次回の定期の立入調査により、状況等の確認を行うこととしている。

参考北陸電力 HP : <http://www.rikuden.co.jp/press/attach/05091201.pdf>

平成 17 年 9 月 12 日 原子力安全対策室 (直通) 076 (225) 1465 (県庁内線) 4234
--